

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(水道) 水道メーター改造事業	会計名称	水道特別		担当課	水道課	
		予算科目	1 款 1 項 2 目	事業番号	9902	所属長名	野島康博
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	山岡豊茂	
法令根拠等	計量法				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
	潤いのある水環境づくり						
総合計画における本事業の役割	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～生活環境の整備						
事業の対象	市民（上水道加入者）		事業の目的	計量法で定められている検定満期（8年）に伴う取替に必要な水道メーターを引上改造を行う。			
事業の内容（整備内容）	計量法で定められている検定満期（8年）に対応する水道メーターを確保するために、引上メーターを改造修理して、再使用可能な状態にする。		昨年度の課題に対する具体的な改善策	引上げメーターを改造修理して再使用することにより、産業廃棄物量の軽減を図る。			

事業活動の内容・成果（D0）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28年度実績	29年度予定	9月末の実績	29年度実績
財源内訳	直接事業費	1,627	2,804	0	0	0	2,590	改造修理個数	個	1226	1975	0	1975
	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他	1,627	2,804	0	0	0	2,590						
一般財源		0	0	0	0	0	0	事業費	千円	1627	2804	0	2590
職員の人工（にんく）数		0.02	0.22				0.22						
1人工当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費÷人件費		1,789	4,568				4,354						
主な実施主体		直接実施 修繕費：水道メーター改造費		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）									
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	5年間の合計		
						2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000		
成果指標	指標	実績数値のみ記載する。				単位	⇒	区分年度	28年度	29年度	30年度	目標	毎年度
						個		目標	1661	1975	1962		
	指標設定の考え方	回収された水道メーターの改造費であり、個数は検定満期より限られているので、成果指数の設定は困難である。				実績		1661	2590	2908			
								指標で表せない効果					

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)			計量法に基づき実施する事業であるため、必要不可欠である。可能な限り引上げメーターの改造修理をし再使用することで、経費の縮減を行うために数量の把握及び改造回数の確認を行う。									
事業 <												

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営最終者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	